

別紙2

## 功績調書（作成例）

ふりがな  
氏名 ○○ ○○

○○教授は、昭和○○年○○月△△大学△学研究科修士課程を修了し、昭和○○年○○月琉球大学助手に採用された。昭和○○年講師、昭和○○年助教授を経て昭和○○年○○月に○○学部教授に昇任、大学改革転換に伴い平成○○年琉球大学教養部教授、平成○○年理学部教授に配置換、○○年余にわたって□□学の教育・研究に努め、大学行政にも携わってきた。**（学歴、経歴の概要等）**

○○学の教育・研究においては、……………に貢献された。**（業績の概要等）**

同人は、特に……………の面に力を入れ、……………。**（顕著な功績の具体的内容等）**

また、行政面においては、平成○○年～平成○○年の2期△△学部長を務め、……………のための……………、**（その他の功績となる活動、榮譽に関する事項等）**

学外においては、☆☆学会の全国理事を昭和○○年以来◇期つとめ、……………に貢献した。

以上のように、○○教授が教育・研究・大学行政及び地域社会に貢献された功績は誠に顕著である。

**功績調書については、単なる履歴の「○○の職務に従事した」という記載ではなく、具体的に何をどう行ってその結果がどのようなもので、本人の功績につながっているのか分かるよう記載をして下さい。**

**専門用語の記載については、可能な限り避けて作成し、本人の功績が専門分野の者にだけしか分からないような記載にならないよう注意願います。なお、専門用語を使用する際には、必ず専門用語に対する注釈等を付すようお願い致します。**

**また、略歴書に記載のある職名の名称および始期終期が功績調書と相違がないよう注意して下さい。**

**記載量は、2～3ページ程度を目安とし、極端に量を少なくしたり、極端に量を多くしないようご注意ください。**